

健康リスク初期評価結果一覧（14物質）

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見 ^(注1)				曝露評価 ^(注1)		MOE・過剰発生率 ^(注1,3)		リスクの判定 ^(注1,4)	総合的な判定 ^(注1,4,5)	過去の公表 ^(注6)
		曝露経路	リスク評価の指標 ^(注2)		動物	影響評価指標（エンドポイント）	曝露の媒体	予測最大曝露量・濃度				
1	アンチモン及びその化合物 [7440-36-0（アンチモン）]	経口	無毒性量等	0.60 mg Sb/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水・食物	0.28 μg Sb/kg/day	MOE	210	() ^(注9)	-
							淡水・食物	6.1 μg Sb/kg/day	MOE	9.8		
		吸入	無毒性量等	0.045 mg Sb/m ³	ラット マウス	体重増加の抑制、肺の重量増加、炎症など	一般環境大気	0.0057 μg Sb/m ³	MOE	160 ^(注10)	() ^(注9)	
2	3,5-キシレノール [108-68-9]	経口	無毒性量等	3.0 mg/kg/day	ラット	流涎、体重増加の抑制	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	() ^(注8)	-
							地下水	- μg/kg/day	MOE	-		
		吸入	無毒性量等	- mg/m ³	-	-	一般環境大気	- μg/m ³	MOE	-	() ^(注8)	
3	グルタルアルデヒド [111-30-8]	経口	無毒性量等	0.40 mg/kg/day	ラット	腎臓重量の減少	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	() ^(注8)	9次
							地下水	- μg/kg/day	MOE	-		
		吸入	無毒性量等	0.0016 mg/m ³	ラット	鼻の刺激症状、体重増加の抑制	一般環境大気	0.0086 μg/m ³	MOE	19	() ^(注8)	
4	2-クロロニトロベンゼン [88-73-3]	経口	無毒性量等	0.40 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加、慢性腎症の増悪	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	() ^(注8)	-
							淡水	< 0.000092 μg/kg/day	MOE	> 87,000 ^(注10)		
		吸入	無毒性量等	0.013 mg/m ³	ラット	メトヘモグロビン濃度の増加、呼吸上皮の過形成	一般環境大気	< 0.0012 μg/m ³	MOE	> 220 ^(注10)	() ^(注8)	
5	4,4'-ジアミノジフェニルエーテル [101-80-4]	経口	無毒性量等	1.0 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、ヘモグロビン濃度の減少、肝疾患	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	() ^(注8)	-
							淡水	< 0.00013 μg/kg/day	MOE	> 150,000 ^(注10)		
		吸入	無毒性量等	- mg/m ³	-	-	一般環境大気	- μg/m ³	MOE	-	() ^(注8)	
6	四塩化炭素 [56-23-5]	経口	無毒性量等	(-) mg/kg/day	(-)	(-)	飲料水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)	() ^(注8)	-
							地下水	(-) μg/kg/day	MOE	(-)		
		吸入	無毒性量等	0.56 mg/m ³	マウス	肝細胞腺腫	一般環境大気	0.85 μg/m ³	MOE	13 ^(注10)	() ^(注8)	
7	o-ジクロロベンゼン [95-50-1]	経口	無毒性量等	43 mg/kg/day	マウス	尿管再生	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	() ^(注9)	パイロット 事業
							淡水	0.0013 μg/kg/day	MOE	3,300,000		
		吸入	無毒性量等	0.75 mg/m ³	ラット	肝臓相対重量の増加、肝細胞肥大	一般環境大気	0.12 μg/m ³	MOE	630	() ^(注8)	
8	2-(ジ-n-ブチルアミノ)エタノール [102-81-8]	経口	無毒性量等	10 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、集合管上皮細胞空胞化など	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	() ^(注8)	-
							淡水	< 0.001 μg/kg/day	MOE	> 1,000,000		
		吸入	無毒性量等	2.8 mg/m ³	ラット	体重増加の抑制	一般環境大気	< 0.018 μg/m ³	MOE	> 16,000	() ^(注8)	
9	N,N-ジメチルアセトアミド [127-19-5]	経口	無毒性量等	10 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制、肝臓重量の増加	飲料水	- μg/kg/day	MOE	-	() ^(注9)	-
							淡水	2.9 μg/kg/day	MOE	69 ^(注10)		
		吸入	無毒性量等	11 mg/m ³	ラット	肝臓の重量増加・脂肪変性、腎臓の重量増加・腎症の増悪	一般環境大気	0.22 μg/m ³	MOE	1,000 ^(注10)	() ^(注9)	
10	タリウム及びその化合物 [7440-28-0（タリウム）]	経口	無毒性量等	0.004 mg Tl/kg/day	ラット	毛包の萎縮を伴った脱毛	飲料水	- μg Tl/kg/day	MOE	-	() ^(注8)	-
							淡水	- μg Tl/kg/day	MOE	-		
		吸入	無毒性量等	- mg Tl/m ³	-	-	一般環境大気	0.00015 μg Tl/m ³	MOE	-	() ^(注7)	
11	テルル及びその化合物 [13494-80-9（テルル）]	経口	無毒性量等	0.21 mg Te/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水	- μg Te/kg/day	MOE	-	() ^(注11)	-
							淡水	< 0.00076 μg Te/kg/day	MOE	> 28,000		
		吸入	無毒性量等	- mg Te/m ³	-	-	一般環境大気	0.00024 μg Te/m ³	MOE	-	() ^(注7)	

番号	物質名 [CAS番号]	有害性の知見(注1)			曝露評価(注1)		MOE・過剰発生率(注1,3)	リスクの判定(注1,4)	総合的な判定(注1,4,5)	過去の公表(注6)	
		曝露経路	リスク評価の指標(注2)	動物	影響評価指標(エンドポイント)	曝露の媒体					予測最大曝露量・濃度
12	1,2,3-トリメチルベンゼン [526-73-8]	経口	無毒性量等 0.40 mg/kg/day	ラット	肝臓相対重量の増加	飲料水 -	μg/kg/day -	MOE -	-	×	
		吸入	無毒性量等 2.2 mg/m ³	ラット	回転棒試験の成績低下、気管支杯細胞の増加	淡水 0.00044	μg/kg/day μg/m ³	MOE -	91,000		
13	メチル=ドデカノアート [111-82-0]	経口	無毒性量等 100 mg/kg/day	ラット	最高用量で影響なし	一般環境大気 0.58	μg/m ³	MOE -	380		
		吸入	無毒性量等 - mg/m ³	-	-	室内空気 46	μg/m ³	MOE -	5		
14	2-メチルプロパン-2-オール [75-65-0]	経口	無毒性量等 9.0 mg/kg/day	ラット	体重増加の抑制	飲料水 -	μg/kg/day -	MOE -	-	-	
		吸入	無毒性量等 29 mg/m ³	ラット マウス	貧血、肝臓相対重量の増加 体重増加の抑制、肝臓相対重量の増加	淡水 0.092	μg/kg/day μg/m ³	MOE -	9,800	×	
									×	×	

- (注1) - : リスク評価の指標が設定できなかった、あるいは予測最大曝露量・濃度が設定できなかった場合、MOE・過剰発生率(がん)の算出ができなかった場合。 (-) : 評価の対象外、あるいは評価を実施しなかった場合。
- (注2) リスク評価の指標 : 本評価は基本的に安全サイドに立ったスクリーニングとして実施していること、情報の質、量は化学物質により大きく異なることから、化学物質間の相対的な毒性強度を比較するような場合等には、この数値を単純に使用するのではなく、更なる詳細な検討を行うことが必要。
無毒性量等 : 長期間の連続曝露に補正したNOAEL(長期毒性以外の知見を採用した場合等)又はNOAEL相当(LOAELを10で除した場合等)の値。
- (注3) MOE : 無毒性量等を予測最大曝露量、あるいは予測最大曝露濃度で除した値。但し、無毒性量等を動物実験から設定した場合には10で除し、さらにヒトで発がん作用があると考えられる場合には最大10で除して算出する。
また、無毒性量等を発がん性から設定した場合には原則10で除して算出する。
- (注4) : 現時点では作業は必要ない、 : 情報収集に努める必要がある、 : 詳細な評価を行う候補、 × : 現時点ではリスクの判定はできない。
- (注5) リスク評価の指標が設定できない場合や曝露情報が把握されていないためにMOE・過剰発生率(がん)の算出ができず、リスクの判定ができなかった場合でも、関連情報から情報収集等の必要性について推定できた場合には、健康リスク評価分科会による総合的な判定により下記の通り分類した。また、リスク判定ができた場合でも、必要に応じて総合的な判定を実施した。
() : 情報収集等を行う必要性は低いと考えられる、 () : 情報収集等を行う必要性があると考えられる、 () : 詳細評価を行う候補と考えられる。
- (注6) 再評価物質については、過去において第何次のとりまとめで公表したかを示す。
- (注7) リスク評価の指標が設定できなかった物質 : 曝露経路間の換算により算出した値を考慮した。
- (注8) 予測最大曝露量・濃度が得られなかった物質 : 過去の曝露データや限られた地域の曝露データ、PRTRデータを用いた濃度予測結果、媒体別分配割合の予測結果、水中や大気中での半減期、生産量、物性などを考慮した。
- (注9) 総合的な判定として、飲料水や地下水などの過去の曝露量や曝露濃度、PRTRデータを用いた濃度予測結果などを考慮した。
- (注10) MOEの算出に当たっては、発がん性を考慮した。
- (注11) 曝露情報取得の必要性などを考慮した。